

登録コード	UAA53500	開講年度	2026						
授業題目	心理学実践演習Ⅰ					担当教員	今井 章 他		
						副担当	高瀬 弘樹・岡本 卓也・松本 昇・白井 真理子		
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期				
				授業形態	演習				
信大コンピテンシー	非該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					⇔	【授業の達成目標】		
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学，2 5 UAカリ・総人社・人間文化学								
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。					⇔	人間と社会を中心とした多種多様な側面を持つ人間の心理に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証することができる。		
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。					⇔	人間行動に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する心理学の伝統的な手法を身につけるとともに、さまざまな分野の解析手法を併せて学ぶことにより、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を身につけることができる。		
(2)授業の概要	実証に基づく科学としての心理学におけるさまざまな研究手法について学び，データを用いた実証的及び批判的な思考方法によって心理学的諸問題を科学的に解決する視点を持つことを目指す。また自ら適切な研究を計画・実施できる知識と技能の習得を目指す。								
(3)授業計画	第01回：ガイダンス 第02回：心理学における実証的研究 第03回：リサーチクエストとリサーチデザイン（1） 第04回：リサーチクエストとリサーチデザイン（2） 第05回：リサーチクエストとリサーチデザイン（3） 第06回：実験法（1） 第07回：実験法（2） 第08回：実験法（3） 第09回：実験法（4） 第10回：調査法（1） 第11回：調査法（2） 第12回：調査法（3） 第13回：実践的研究法 第14回：研究倫理 第15回：まとめ 期末試験の有無 無								
(4)成績評価の方法	各単元の小課題(40%)および期末レポート(60%)により評価する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。90%以上：秀，89-80%：優，79-70%：良，69-60%：可，59%以下：不可。								
(5)成績評価の基準	各心理学研究法への理解および研究計画の立案への応用という観点から評価する。それぞれに極めて高い水準の能力が認められれば「卓越している」と評価し，非常に高い水準の能力が認められれば「かなり上にある」，高い水準の能力が認められれば「やや上にある」，一定水準の能力が認められれば「その水準にある」と評価する。								
(6)事前事後学習の内容	学んだ知識を役立てられるよう，毎回の授業において復習をし，自身の研究計画の立案に生かせるよう努めること。								
(7)履修上の注意	心理学について基礎的知識（特に心理学研究法，心理実験法，心理統計法）があることを前提に授業を進める。								
(8)質問,相談への対応	授業での疑問は授業内で解決できるよう，積極的に発言する。その他の場合は，いずれかの担当教員（imaiakr[at]shinshu-u.ac.jpなど）にアポイントメントを取った上で，個別に相談する。								
【教科書】	指定しない。								
【参考書】	三浦麻子監修・著（2017）なるほど！心理学研究法（心理学ベーシック第1巻）北大路書房，2,420円 佐藤 暢哉（著，編集）・小川 洋和（著，編集）・三浦 麻子（監修）（2017）なるほど!心理学実験法（心理学ベーシック第2巻）北大路書房，2,420円								